1Fからの新燃料搬出について

東京電力ホールディングス株式会社

新燃料搬出計画

- １～６号機からの全燃料取り出し実現に向け、４号機から取り出した新燃料および５・６号機に保管されている新燃料は所外に搬出することを計画中。
- １～３号機の新燃料は共用プールに取り出す予定（３号機は取り出し済）。その後の扱いは未定。
- ４・５・６号機新燃料について６号機使用済燃料取出完了後から搬出を開始することを検討中。

号機	製造メーカ	体数	保管場所
4号機	原燃工	180体	6号SFP
		24体	共用プール
5号機	原燃工	168体	5号SFP
6号機	原燃工	192体	6号NFV
	Framatome	38体	6号NFV
		18体	6号SFP

3号機 既設配管を活用したS/C水位低下のための現場調査について

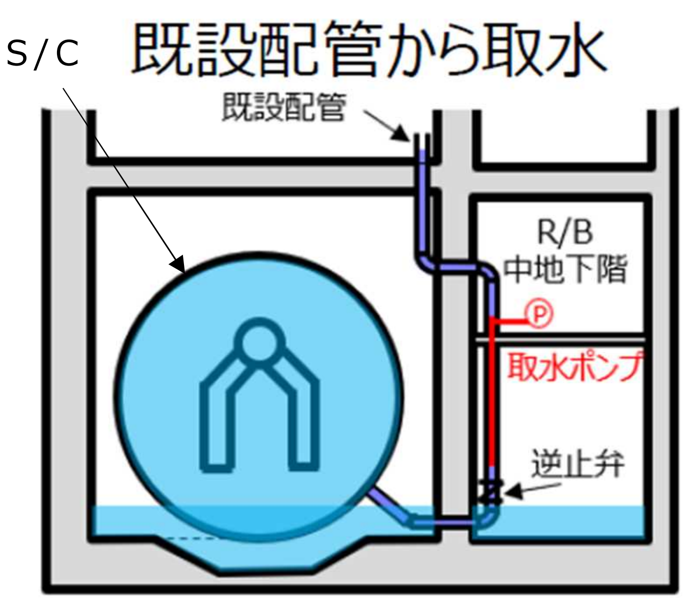
2023年10月6日

東京電力ホールディングス株式会社

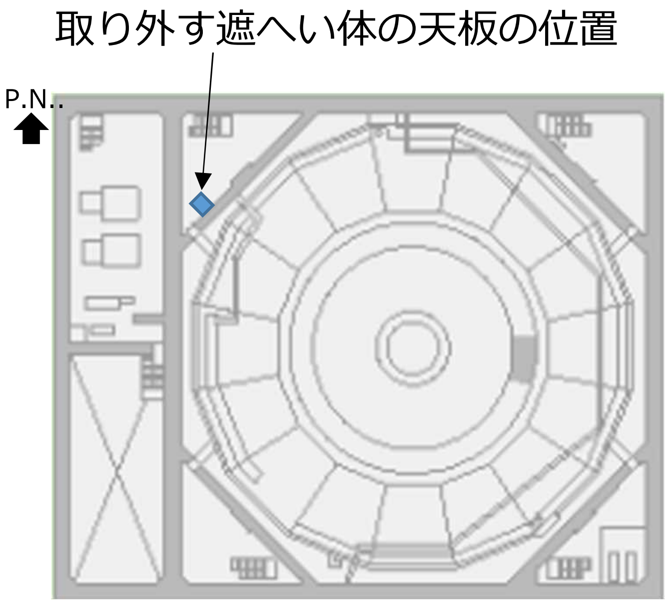
1．概要

3号R/B中地下階の既設配管周り遮へい体の天板の取り外し作業を実施することに関して情報共有する。

- ３号機のサプレッションチャンバー（S/C）は、耐震性向上策として、段階的にS/C水位の低下を行うことを計画中。
- S/C水位の低下は、原子炉注水量低減によるものと、取水設備設置によるものを計画しており、主案は前者であるものの、目標水位まで低下しないリスクを考慮して、後者の検討も並行して実施中。
- 今回、後者の取水設備設置を検討するにあたり、対象となる既設配管（RHR配管）がある、3号機R/B中地下階の現場調査を実施する。
- 調査対象の既設配管は遮へい体と天板で囲まれているため、調査のためには天板を外す必要があるが、天板は腐食しており取り外し後に再取り付けが困難であることと、作業員の被ばく低減のため、現地に残置することを計画（対象は１箇所）。



S/Cからの取水概要



調査対象の場所（R/B中地下階）

遮へい体と天板

2．調査工程

	2023年				
	9月	10月			
	4W	1W	2W	3W	4W
天板の状況確認	天板の状況確認	現在			
天板の取り外し	天板取り外し方法検討	天板取り外し方法検討	天板取り外し		
遮へい体内調査				遮へい体内調査→天板残置	

汚染水対策スケジュール（1/2）

資料1-1

分野名	括り	廃炉中長期実行プラン２０２３目標工程	対象設備・作業内容	これまで１ヶ月の動きと今後6ヶ月の予定		8月（13 / 20 / 27）	9月（3 / 10 / 17 / 24）	10月（上 / 中 / 下）	11月（上 / 中 / 下）	12月（上 / 中 / 下）	1月（上 / 中 / 下）	2月（上 / 中 / 下）	3月以降	備考
汚染水対策分野		●プロセス主建屋（PMB）、高温焼却建屋（HTI）の滞留水処理	建屋内滞留水	【1～4号機　滞留水移送装置】 （実績） ・1～4号機滞留水移送装置運転 （予定） ・1～4号機滞留水移送装置運転	現場作業	1～4号機滞留水移送装置設置　運転							（継続運転）	
				【α核種除去設備検討】	設計・検討		詳細設計・工事						（2024年度工事完了予定）	
				【1～4号機　T/B床面スラッジ等の回収方法検討】	設計・検討		設計検討						（2024年度設計完了予定）	
				【滞留水一時貯留タンク設計】	設計・検討		詳細設計・工事						（2024年度工事完了予定）	建屋滞留水一時貯留タンク設備の設置に係る実施計画変更（2023年7月6日申請）
				【プロセス主建屋・高温焼却建屋ゼオライト土嚢の検討】	設計・検討		詳細設計・工事						（2024年内工事完了予定）	実規模モックアップ（2022年10月～） 実施計画変更（2023年3月31日申請）
		●汚染水発生量を100m3/日以下に抑制(2025年内) ●汚染水発生量を50～70m3/日程度に抑制(2028年度末)	浄化設備	【既設多核種除去設備】 【高性能多核種除去設備】 【増設多核種除去設備】 （実績） ・処理運転 （予定） ・処理運転	現場作業		処理運転（処理水の状況に応じて適宜運転または処理停止）						（継続運転）	処理水及びタンクのインサービス状況に応じて適宜運転 または処理停止 増設多核種除去設備 前処理設備改造に係る実施計画変更申請（2022年4月28日認可） 工事　　　実施中 2023年度内運用開始予定
				【サブドレン浄化設備】 （実績） ・処理運転 （予定） ・処理運転	現場作業	処理運転							（継続運転）	サブドレン汲み上げ、運用開始（2015年9月3日～） 排水開始（2015年9月14日～） 5/6号機サブドレンの復旧・汲み上げ・運用開始（2022年3月～）
				【地下水バイパス設備】 （実績） ・運転 （予定） ・運転	現場作業	運転							（継続運転）	
				【セシウム吸着装置】 【第二セシウム吸着装置】 【第三セシウム吸着装置】 （実績） ・処理運転 （予定） ・処理運転	現場作業	処理運転							（継続運転）	
				【RO-3】 【建屋内RO 循環設備】 （実績） ・運転 （予定） ・運転	現場作業	運転							（継続運転）	淡水化装置（RO-1，RO-2）撤去 2023年5月23日：工事開始（2024年3月頃：工事完了予定） 建屋内ＲＯ処理水移送配管の追設に係る実施計画変更（2023年6月2日申請）
			陸側遮水壁	（実績・予定） ・未凍結箇所補助工法は2018年9月に完了 ・維持管理運転2019年2月21日全域展開完了	現場作業	維持管理運転（北側、南側の一部　2017/5/22～　、海側の一部　2017/11/13～、海側全域･山側の一部　2018/3/14～、山側全域2019/2/21完了）							（継続運転）	
			フェーシング（陸側遮水壁内エリア）	【凍土壁内フェーシング（全6万m^2）】 ・３号機建屋西側	現場作業	３号機建屋西側								3号機建屋西側：2024年2月完了予定
			1-4号機建屋周辺トレンチ調査	（実績・予定） ・12箇所の調査実施（2023）	現場作業				（2023年12月調査完了予定）					
			サブドレンNo40周辺PCB含有絶縁油拡散抑制対策	（実績・予定） ・鋼矢板設置 ・薬液注入	現場作業								（2023年9月20日工事完了）	ガレキ撤去時の高線量、及び不明埋設物の調査・切断作業の追加による約２ヵ月の遅れに対して、線量低減対策の効果により８月末の完了（１ヵ月の遅れ）を見込んだが、更なる被ばく低減の追加措置の実施などにより、9月20日完了
			5号機建屋間ギャップ端部止水対策	（実績・予定） ・建屋間ギャップ端部止水：４箇所	現場作業									削孔開始：2023年5月２２日 2024年1月完了予定（天候、試験結果により工程は見直す可能性がある）

汚染水対策スケジュール（2/2）

分野名	括り	廃炉中長期実行プラン２０２３目標工程	対象設備・作業内容	これまで１ヶ月の動きと今後6ヶ月の予定		8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月以降	備考
						13 / 20 / 27	3 / 10 / 17 / 24	上 / 中 / 下	上 / 中 / 下	上 / 中 / 下	上 / 中 / 下	上 / 中 / 下		
汚染水対策分野		●タンク関連	H４エリアNｏ．５タンクからの漏えい対策	（実績・予定） ・汚染の拡散状況把握	現場作業	モニタリング							（継続実施）	
			タンク解体	（予定） ・Ｅエリアフランジタンク解体工事 ：49基解体予定（2023年度中） ・Eエリアフランジタンク（D1）内の残水回収（スラッジ含む） （実績）解体基数　47基／49基	現場作業	Ｅエリアフランジタンク解体工事 Eエリアフランジタンク（D1・D2）内の残水回収			※：残水回収中のD1タンクおよびその残水回収作業で使用しているD2タンク（計2基）を除く				（タンク解体完了）※ （継続実施）	2018年9月10日　Ｅエリアにおける中低濃度タンクの撤去等について （実施計画変更認可） Ｄ１２タンク解体完了：２０２３年２月 D2タンク内の残水回収：2022年6月完了
		●自然災害対策	津波対策	○日本海溝津波対策 ・日本海溝津波対策防潮堤設置 （実績・予定）　斜面補強構築工事 本体構築工事	現場作業	斜面補強・本体構築工事							（2024年3月 工事完了予定）	2024年3月完了予定 現場着手：2021年6月21日開始 斜面補強部：2021年9月14日作業開始 防潮堤本体部：2022年2月15日作業開始
				○サブドレン集水設備高台機能移転 （実績・予定）ろ過水タンク西側整備工事実施（完了） 地盤改良（完了） 集水設備設置（１０基）	現場作業	ろ過水タンク西側整備（ろ過水配管リルート工事完了），地盤改良工事（地盤改良完了），集水設備設置（１０基）5月～着手							（2024年度初旬 工事完了予定）	集水設備設置　10基（5月～着手） 工事実施中　SD-7、SD-10、SD-8、SD-9，側板組立・溶接済み、天蓋設置済み SD-4、側板組立・溶接済み、天蓋設置済み SD-１、低板・側板組立済み・天蓋溶接中

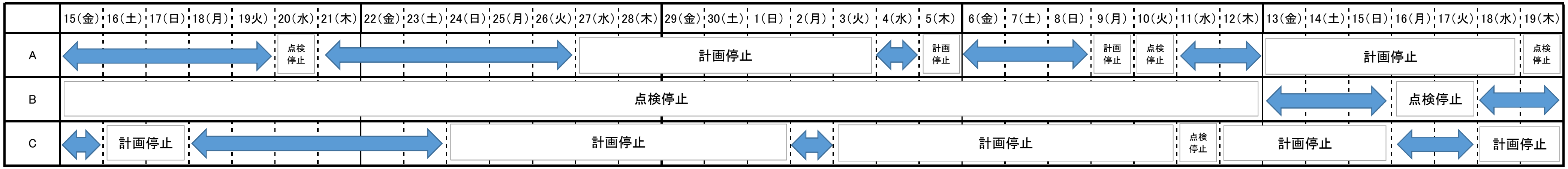
資料1-2

水処理設備の運転状況，運転計画

（2023年9月15日～2023年10月19日）

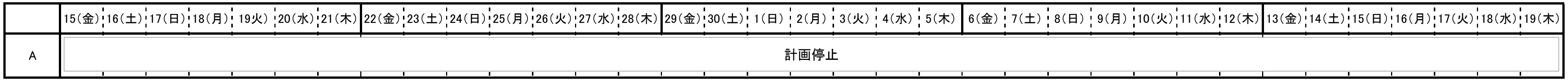
2023年10月6日
東京電力ホールディングス株式会社

既設多核種除去設備

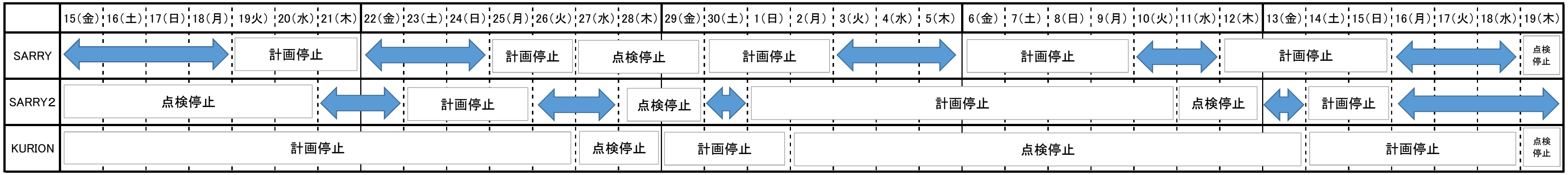


増設多核種除去設備

高性能多核種除去設備



セシウム吸着装置(KURION)，第二セシウム吸着装置(SARRY)，第三セシウム吸着装置（SARRY2）



※ 現場状況を踏まえて運転するため，計画を変更する場合があります。

無断複製・転載禁止 東京電力ホールディングス株式会社 ©Tokyo Electric Power Company Holdings, Inc. All Rights Reserved.

各エリア別タンク一覧

1～4号機用汚染水貯蔵タンク

タンク基数、水位、貯蔵量、実容量集約日　2023年9月21日

堰エリア	基数	1基あたり容量(公称)〔m3〕	タンク型	貯蔵水	H水位(mm)	H容量/基=実容量/基(m3)	0%以下貯蔵量(m3)	0%以上貯蔵量(m3)	実容量(m3)	水位管理 水位(%)(最大値)	スロッシング考慮(%)	HANN(%)	HHANN(%)	放射能濃度(Bq/cc) Cs-134	Cs-137	Co-60	Mn-54	Sb-125	Ru-106	Sr-90	測定時期	概略使用開始時期
B	10	1330	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備処理済水(既設・増設)	13674	1297	約20	12908	12975	97.4	100	97.7	99	添付「タンク群毎の放射能濃度実測値」参照 ※3								H30.12
	27	700	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備処理済水(増設)	13272	682	約30	18383	18413	97.6	100	97.7	99	添付「タンク群毎の放射能濃度実測値」参照 ※3								H30.10
B南	7	1330	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備処理済水(増設)	13674	1297	約10	9110	9082	98.0	100	97.7	99	添付「タンク群毎の放射能濃度実測値」参照 ※3								H30.10
D	19	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	Sr処理水等(C)	12936	1004	約190	7111	19078	52.6	95	88.7	90	1.4E+00	5.4E+00	8.2E-02	<1.9E-02	3.1E+00	<3.5E-01	4.4E+01	H27.3	H26.8
	12	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	RO処理水(淡水)	12936	1004	約140	6490	12049	84.5	95	88.7	90	タンクの分析は未実施								R1.11
E	1	1000	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	濃縮塩水	9880	1054	約100		1089	2.4	95	96.3	98.9	2.7E+00	8.6E+00	3.0E+00	1.4E+00	3.7E+01	1.3E+01	3.8E+04	H27.2	H24.8
G1	66	1356	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備処理済水(既設・増設)	10796	1322	約160	87363	87244	98.0	100	97.7	99	添付「タンク群毎の放射能濃度実測値」参照 ※3								R1.11
G1南	8	1160	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備処理済水(増設)	11920	1130	約20	9069	9042	97.9	99	97.6	98.9	添付「タンク群毎の放射能濃度実測値」参照 ※3								H30.4
	15	1330	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備処理済水(既設)	13664	1296	約30	19439	19442	97.9	99	97.6	98.9	添付「タンク群毎の放射能濃度実測値」参照 ※3								H30.4
G3東	24	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備処理済水(既設)	9400	1069	約50	25705	25652	97.9	100	97.7	99	添付「タンク群毎の放射能濃度実測値」参照 ※3								H25.4
G3西	39	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備処理済水(既設・増設) ※1, 2	9400	1012	約90	39366	39466	92.4	100	92.5	93.8	添付「タンク群毎の放射能濃度実測値」参照 ※3								H25.10
G3北	6	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備処理済水(既設) ※2	9400	1069	約10	6380	6413	97.2	100	97.7	99	添付「タンク群毎の放射能濃度実測値」参照 ※3								R2.3
G4北	6	1356	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備処理済水(既設)	10794	1322	約10	3978	3966	98.0	100	97.7	99	タンクの分析は未実施								R4.7
G4南	26	1356	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備処理済水(既設・増設)	10796	1322	約60	34453	34369	98.0	100	97.7	99	添付「タンク群毎の放射能濃度実測値」参照 ※3								R2.3
G5	17	1356	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備処理済水(既設)	10796	1322	約40	17847	22472	98.0	100	97.7	99	タンクの分析は未実施								R5.4
G6	38	1330	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備処理済水(既設・増設)	13674	1297	約70	49127	49303	97.7	100	97.7	99	添付「タンク群毎の放射能濃度実測値」参照 ※3								H31.4
G7	10	700	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備処理済水(既設)	13415	690	約10	6926	6898	98.1	100	97.7	99	添付「タンク群毎の放射能濃度実測値」参照 ※3								H26.12
H1	63	1220	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備処理済水(既設・増設・高性能)	10539	1190	約140	70085	74969	98.0	100	97.7	99	添付「タンク群毎の放射能濃度実測値」参照 ※3								H27.3
H1東	24	1220	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備処理済水(既設)	10539	1190	約50	28560	28560	97.7	100	97.7	99	添付「タンク群毎の放射能濃度実測値」参照 ※3								H28.4
H2	44	2400	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備処理済水(既設・増設)	11330	2331	約180	102624	102569	98.0	100	97.7	99	添付「タンク群毎の放射能濃度実測値」参照 ※3								H28.10
H3	10	1356	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備処理済水(既設)	10796	1322	約20	13246	13219	97.9	100	97.7	99	添付「タンク群毎の放射能濃度実測値」参照 ※3								H30.11
H4北	35	1200	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備処理済水(既設)	10366	1169	約80	40888	40931	97.7	100	97.7	99	添付「タンク群毎の放射能濃度実測値」参照 ※3								H29.7
H4南	13	1060	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備処理済水(増設)	13190	1034	約20	13438	13424	97.7	100	97.7	99	添付「タンク群毎の放射能濃度実測値」参照 ※3								H29.12
	38	1140	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備処理済水(既設・増設)	13010	1112	約70	42208	42249	97.7	100	97.7	98.9	添付「タンク群毎の放射能濃度実測値」参照 ※3								H30.4
H5	32	1200	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備処理済水(増設)	10368	1169	約70	37525	37423	98.0	100	97.7	99	添付「タンク群毎の放射能濃度実測値」参照 ※3								H30.9
H6(Ⅰ)	11	1200	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備処理済水(既設・増設)	10368	1169	約20	12898	12864	98.0	100	97.7	99	添付「タンク群毎の放射能濃度実測値」参照 ※3								H30.8
H6(Ⅱ)	24	1356	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備処理済水(既設・増設)	10796	1322	約60	31682	31725	97.7	100	97.7	99	添付「タンク群毎の放射能濃度実測値」参照 ※3								H30.12
H8北	2	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備処理済水 ※2	9477	1069	約0	2122	2138	97.0	100	97.7	99	1.3E-01	5.7E-01	2.7E-01	3.6E-02	6.4E+00	−	2.2E+02	H27.3	H25.4
	3	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	Sr処理水等(C)	9477	1069	約10	1231	3207	37.5	100	97.7	99	1.3E-01	5.7E-01	2.7E-01	3.6E-02	6.4E+00	−	2.2E+02	H27.3	H25.4
H8南	9	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備処理済水 ※2	9477	1069	約20	9576	9620	97.5	100	97.7	99	タンクの分析は未実施								現在未使用中
	2	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	Sr処理水等(R)	9477	1069	約0	19	2138	1.7	100	97.7	99	<5.1E-02	1.2E-01	2.1E-01	2.0E-02	3.8E+00	2.9E-01	9.1E+01	H27.3	H25.4
J1	98	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備処理済水(既設・増設) ※1, 2	9477	1069	約220	104342	104746	98.0	100	97.7	99	添付「タンク群毎の放射能濃度実測値」参照 ※3								H26.1
	2	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備処理済水(高性能検証試験装置)	9477	1069	約0	1046	2138	95.6	100	97.7	99	添付「タンク群毎の放射能濃度実測値」参照 ※3								
J2	42	2400	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備処理済水(既設・増設)	12151	2500	約170	104194	104999	97.1	99	97.2	98.5	添付「タンク群毎の放射能濃度実測値」参照 ※3								H26.9
J3	22	2400	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備処理済水(既設・増設・高性能)	12101	2490	約90	54678	54773	97.0	99	96.8	98.1	添付「タンク群毎の放射能濃度実測値」参照 ※3								H26.10
J4	30	2900	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備処理済水(既設・増設・高性能)	12604	2829	約130	84980	84882	98.0	100	97.7	99	添付「タンク群毎の放射能濃度実測値」参照 ※3								H26.10
	5	1160	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備処理済水(増設)	11926	1131	約10	5657	5657	97.7	100	97.7	99	添付「タンク群毎の放射能濃度実測値」参照 ※3								H28.2
J5	35	1235	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備処理済水(既設)	12001	1137	約70	39754	39789	92.2	94	92.2	93.5	添付「タンク群毎の放射能濃度実測値」参照 ※3								H26.8
J6	38	1200	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備処理済水(既設・増設)	10366	1169	約90	44490	44431	98.0	99	97.6	98.9	添付「タンク群毎の放射能濃度実測値」参照 ※3								H26.12
J7	42	1200	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備処理済水(既設・増設・高性能)	10366	1169	約100	49019	49108	97.6	99	97.6	98.9	添付「タンク群毎の放射能濃度実測値」参照 ※3								H27.9
J8	9	700	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備処理済水(既設)	10747	682	約10	6135	6138	98.0	100	97.7	99	添付「タンク群毎の放射能濃度実測値」参照 ※3								H28.4
J9	12	700	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備処理済水(既設・増設)	10747	682	約20	8204	8183	98.0	100	97.7	99	添付「タンク群毎の放射能濃度実測値」参照 ※3								H28.11
K1北	12	1200	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備処理済水(高性能)	10366	1169	約30	2571	14031	30.3	99	97.6	98.9	添付「タンク群毎の放射能濃度実測値」参照 ※3								H27.1
K1南	10	1160	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備処理済水(既設・増設) ※2	11926	1131	約20	11314	11314	97.7	100	97.7	99	タンクの分析は未実施								R3.7
K2	28	1057	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備処理済水(既設) ※2	12780	1032	約40	28834	28888	97.9	100	97.7	99	添付「タンク群毎の放射能濃度実測値」参照 ※3								H28.7
K3	12	700	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備処理済水(増設)	13280	683	約10	8195	8195	97.7	100	97.7	99	添付「タンク群毎の放射能濃度実測値」参照 ※3								H28.4
K4	35	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備処理済水(既設・増設)	12410	972	約50	23845	34024	97.0	100	97.7	99	添付「タンク群毎の放射能濃度実測値」参照 ※3								H28.8
多核種除去設備	4	1100	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	多核種除去設備処理済水(既設)	9750	1103	約0	398	4411	16.5	100	97.5	99	— ※4								H25.3
高性能多核種除去設備	3	1235	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備処理済水(高性能)	12630	1199	約0	141	3598	5.8	100	98.4	99.6									H26.10
増設多核種除去設備	3	1235	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備処理済水(増設)	12630	1199	約0	1491	3598	72.2	100	98.4	99.6									H26.9
D	10	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	濃縮廃液	12936	1002	約120	7315	10041	82.2	95	88.7	90	タンクの分析は未実施								H26.8
H2	3	100	鋼製横置きタンク(溶接)	濃縮廃液	—	—	—	244	281	89.3	—	93	96.5	タンクの分析は未実施								H23.8

赤字はアウトオブサービス済の基数

下線部は今回の変更箇所

※実容量には、タンク底部から水位計0%の水量(DS分)を含まない。

※1　濃縮塩水/Sr処理水等を貯留した実績あり(G3西及びJ1の一部)

※2　Sr処理水等を貯蔵した実績のあるタンクを再利用したものを含む　再利用した基数　G3西:30、G3北:6、H8北:2、H8南:9、J1:8、K1南:10、K2:26

※3　多核種除去設備処理済水(ALPS処理水等)の放射能濃度について、当社「処理水ポータルサイト」に掲載のデータを参照(3ヶ月毎にデータ更新)
処理水ポータルサイトのURLは以下のとおりです。4ページ中段にある『貯蔵タンクエリア毎の放射能濃度を詳しくみる』をクリックすると、分析結果が表示されます。
https://www.tepco.co.jp/decommission/progress/watertreatment/

※4　多核種除去設備、高性能多核種除去設備、増設多核種除去設備のサンプルタンクは貯留用タンクではなく水の入れ替わりがあることから、分析対象外とする。

無断複製・転載禁止　東京電力ホールディングス株式会社　©Tokyo Electric Power Company Holdings, Inc. All Rights Reserved.

汚染水等構内溜まり水の状況（2023.9.21時点）

リスク総点検より抜粋・改訂

No.	箇所	対象	場所	量(m^3)	放射性物質濃度[Bq/L]	備考
1-2	2号機R／B	2号機R／B	建屋エリアに存在する建屋	降雨量により変動	【上屋】 Cs-134: 200～340 Cs-137: 650～1100 全β: 920～1900 Sr-90: 10～20 H-3: ND(<100) (2015.1.16)	
2	5,6号機貯留タンク(フランジタンク)	・5,6号機貯留タンク(フランジタンク)	6号機北側	約1,200 (2023.6.22時点) **約1,200** **(2023.9.14時点)**	Cs-134: 2.9E0 Cs-137: 9.7E1 (2022.7.12)	5・6号建屋滞留水・RO濃縮水を貯留
3	5,6号機貯留タンク(溶接タンク)	・5,6号機貯留タンク(溶接タンク)	6号機北側	約8,100 (2023.6.22時点) **約8,100** **(2023.9.14時点)**	Cs-134: 7.7E0 Cs-137: 4.3E1 (2016.10.3)	5・6号建屋滞留水・RO濃縮水を貯留
4-2	吸着塔一時保管施設	水処理二次廃棄物 (SARRY、KURION、ALPS処理カラム、モバイル式処理装置)	吸着塔一時保管施設(第一施設、第四施設)	1程度(1基あたり)	Cs-137: 2.0E3～1.6E7 Sr-90: 5.3E3～4.3E7 (2017.2～2017.3)	
7	濃縮水タンク (蒸発濃縮装置濃廃水)	蒸発濃縮装置濃縮水用ノッチタンク (スラリー/濃縮水)	タンクエリア (Cエリア)	約65※1 (2019.2.1時点)	【蒸発濃縮装置濃廃水】 Cs-134: 1.7E4 Cs-137: 2.5E4 全β: 4.7E8 (2011.12.20)	蒸発濃縮装置濃縮水を貯留 ※1:全5タンクの水量を実測して算出
9	5，6号機逆洗弁ピット及び吐出弁ピット	・6号機ポンプ室循環水ポンプ吐出弁ピット	6号機スクリーン近傍	約850	Cs-134: ND Cs-137: 1.8E0 (2022.2.1)	
		・5号機逆洗弁ピット	5号タービン建屋海側	約1,500	Cs-134: 3.0E0 Cs-137: 1.9E1 (2016.10.3)	
		・6号機逆洗弁ピット	6号タービン建屋海側	約1,500	Cs-134: 1.5E0 Cs-137: 1.1E1 (2016.10.3)	
10	1～4号機T／B屋根	・1号機T／B	建屋エリアに存在する建屋	降雨量により変動	【1号機T/B上屋】 Cs-134: 2.8E1 Cs-137: 1.4E3 (2023.6.29) 全β: 4.4E1 (2020.7.29)	
		・2号機T／B	建屋エリアに存在する建屋	降雨量により変動	【2号機T/B上屋】 Cs-134: ND Cs-137: 4.5E1 (2023.6.29) 全β: 8.9E0 (2020.7.29)	
15	地下貯水槽	地下貯水槽No. 1	タンクエリア	－	【RO濃縮水貯水実績あり】 全β:1.3E6 (2018.9.12) (参考:漏えい検知孔水) 全β: 2.9E4 (2023.8.7) H-3: ND (2019.9.4)	水位計の計測限界水深未満(一部残水あり) (2018.9.26時点)
16	地下貯水槽	地下貯水槽No. 2	タンクエリア	－	【RO濃縮水貯水実績あり】 全β:3.1E6 (2018.9.12) (参考:漏えい検知孔水) 全β: 4.2E4 (2023.8.8) H-3: ND (2019.9.4)	水位計の計測限界水深未満(一部残水あり) (2018.9.26時点)
17	地下貯水槽	地下貯水槽No. 3	タンクエリア	－	【RO濃縮水貯水実績あり】 全β:3.2E6 (2018.9.11) (参考:漏えい検知孔水) 全β: 3.3E4 (2023.8.10) H-3: ND (2019.9.5)	水位計の計測限界水深未満(一部残水あり) (2018.9.26時点)
18	地下貯水槽	地下貯水槽No. 4	タンクエリア	－	【タンク堰内雨水貯水実績あり】 全β: 2.8E4 (2018.9.12)	水位計の計測限界水深未満(一部残水あり) (2018.9.26時点)
20	地下貯水槽	地下貯水槽No. 6	タンクエリア	－	【RO濃縮水貯水実績あり】 全β:7.8E6 (2018.9.11) (参考:漏えい検知孔水) 全β:4.5E1 (2019.9.5) H-3: ND (2019.9.5)	水位計の計測限界水深未満(一部残水あり) (2018.9.26時点)
21	地下貯水槽	地下貯水槽No. 7	タンクエリア	－	【タンク堰内雨水貯水実績あり】 全β:1.5E2 (2018.9.12)	水位計の計測限界水深未満(一部残水あり) (2018.9.26時点)

汚染水等構内溜まり水の状況（2023.9.21時点）

リスク総点検より抜粋・改訂

No.	箇所	対象	場所	量（m^3）	放射性物質濃度[Bq/L]	備考
22	1-4号建屋接続トレンチ	・1号機コントロールケーブルダクト ・集中環境施設廃棄物系共通配管ダクト（2号機廃棄物系共通配管ダクト） ・1号機薬品タンク連絡ダクト　等	1～4号機周辺	約1～100 （2023.1）	Cs-134：ND～1.9E2 Cs-137：1.1E2～9.1E3 全β：1.3E2～8.1E3 H-3：ND～5.0E2 （2023.1）	量及び放射性物質濃度の内訳は添付資料(1)「2022年度トレンチ等内溜まり水調査結果一覧」を参照
23	2～4号機DG連絡ダクト	・2～4号機DG連絡ダクト	2～4号機山側	約1,600 （2023.1）	Cs-134：ND Cs-137：1.0E2 全β：1.0E2 H-3：ND （2023.1）	
24-1	1号機海水配管トレンチ	・1号機海水配管トレンチ	1号機タービン建屋海側	約390 （2023.1）	Cs-134：ND Cs-137：4.2E1 全β：7.2E1 （2023.1）	
26	3号機起動用変圧器ケーブルダクト	・3号機起動用変圧器ケーブルダクト	3号機山側	約840 （2023.1）	Cs-134：4.8E1 Cs-137：4.0E2 全β：4.4E2 H-3：ND （2017.10）	
28	1-4号建屋未接続トレンチ	・2号機変圧器防災用トレンチ ・消火配管トレンチ（3号機東側） ・1号機主変圧器ケーブルダクト ・1号機廃液サージタンク連絡ダクト ・1号機オフガス配管ダクト　等	1-4号機周辺	約6～830 （2022.1）	Cs-134：ND～1.0E1 Cs-137：1.1E1～2.5E2 全β：1.9E1～2.5E2 H-3：ND （2022.1）	量及び放射性物質濃度の内訳は添付資料(2)「2021年度トレンチ等内溜まり水調査結果一覧」を参照
29	1～4号機サブドレンピット No.15,16(未復旧ピット)	・サブドレンピットNo.15,16	1～4号機周辺「未復旧」	約20	【No.16】 Cs-134：4.9E2 Cs-137：2.8E4 全β：3.4E4 H-3：ND （2023.7.8）	
30	その他1～4号機サブドレン（ディープウェル含む）（未復旧ピット）	・1号機～4号機サブドレン	1～4号機周辺「未復旧」	約15/ピット	【No.47,48】 Cs-134：ND～3.9E1 Cs-137：4.8E1～9.6E1 全β：7.9E1～2.8E2 H-3：ND （2014.11.10）	
32	1号機放水路（出口を閉塞済）	・1号機放水路（出口を閉塞済）	1～4号タービン建屋海側	約5,220 （2022.1）	【放水路上流側立坑】 Cs-134：2.0E2　**8.2E1** Cs-137：9.1E3　**4.3E3** 全β：1.1E4　**5.2E3** H-3：ND　**ND** （2023.8.21）　**（2023.9.18）**	
33	2号機放水路（出口を閉塞済）	・2号機放水路（出口を閉塞済）	2－4号機タービン建屋海側	約5,350 （2022.1）	【放水路上流側立坑】 Cs-134：2.1E1　**2.4E1** Cs-137：1.0E3　**1.1E3** 全β：1.2E3　**1.5E3** H-3：ND　**ND** （2023.8.21）　**（2023.9.18）**	
34	3号機放水路（出口を閉塞済）	・3号機放水路（出口を閉塞済）	3－4号機タービン建屋海側	約3,360 （2022.1）	Cs-134：ND　**9.1E0** Cs-137：4.8E2　**5.2E2** 全β：6.6E2　**5.5E2** H-3：ND　**1.3E2** （2023.7.12）　**（2023.8.9）**	
35	キャスク保管建屋	・キャスク保管建屋	物揚場　西側	約4,500	Cs-134：7.2E0 Cs-137：2.3E1 I-131：ND Co-60：ND 全γ放射能：3.1E1 全β放射能：－ （2014.5.23）	
36	5号CSTタンク（溶接タンク）	・5号CSTタンク（溶接タンク）	屋外（建屋エリア）	約1060 （2023.3.15） **約1180** **（2023.9.13）**	Cs-134：ND　**ND** Cs-137：ND　**ND** Co-60：1.6E1　**1.7E1** （2023.7.14）　**（2023.8.17）**	プラント保有水を貯留
37	6号CSTタンク（溶接タンク）	・6号CSTタンク（溶接タンク）	屋外（建屋エリア）	約1730 （2023.3.15） **約2290** **（2023.9.13）**	Cs-134：ND　**ND** Cs-137：ND　**ND** Co-60：ND　**ND** （2023.7.10）　**（2023.8.15）**	プラント保有水を貯留
38	5/6号他　トレンチ	・5号機海水配管トレンチ ・5・6号機ストームドレン配管トレンチ ・5号機重油配管トレンチ（東側） ・5号機放射性流体用配管ダクト ・5号機主変圧器ケーブルダクト　等	5～6号機周辺	約1～1,870 （2022.1）	Cs-134：ND～1.7E0 Cs-137：ND～5.1E1 （2022.1）	量及び放射性物質濃度の内訳は添付資料(2)「2021年度トレンチ等内溜まり水調査結果一覧」を参照
40	キャスク保管建屋サブドレン	・キャスク保管建屋サブドレン	物揚場　西側	約15/ピット	Cs-134：1.0E+1 Cs-137：1.4E+1 Co-60：<6.0E-01 全γ放射能：2.4E+1 （2012.1.18）	
42	集中ラド周りサブドレン	・集中ラド周りサブドレン	主プロセス建屋等各建屋周辺	約15/ピット	Cs-134：ND　**ND** Cs-137：ND～3.3E1　**ND～5.8E1** （2023.8.23）　**（2023.9.20）**	
44	純水タンクNo.1	・純水タンク	屋外（建屋エリア）	約850	Cs-134：2.1 Cs-137：7.2 全β：12.2 H-3：ND （2015.5.29）	震災後、坂下ダム補給水を貯留

汚染水等構内溜まり水の状況（2023.9.21時点）

リスク総点検より抜粋・改訂

No.	箇所	対象	場所	量(m^3)	放射性物質濃度[Bq/L]	備考
45	5/6号機建屋滞留水	・5/6号機建屋滞留水	5～6号機	約8,200 (2023.6.22時点) **約6,700** **(2023.9.14時点)**	【5号機】 Cs-134: ND **ND** Cs-137: 1.0E0 **8.8E-1** 全β: ND **ND** H-3: 1.4E2 **ND** (2023.7.18) **(2023.8.28)** 【6号機】 Cs-134: ND Cs-137: 9.1E-1 全β: ND H-3: ND (2023.7.19)	
46	排気筒ドレンサンプピット	・1/2号排気筒ドレンサンプピット	1～4号機周辺	約0.3※ ※適宜溜まり水の移送を実施	Cs-134: 9.5E4 Cs-137: 5.4E6 全β: 4.8E6 (2023.7.26)	2019.10.12以降、水位低下傾向が確認された。 (2019.11.27) 2022.3.29の調査で流入箇所を特定したことから、今後流入抑制対策を実施していく。 (2022.4.27)
		・3/4号排気筒ドレンサンプピット	1～4号機周辺	約2	Cs-134: 2.3E1 Cs-137: 7.0E2 全β: 1.0E3 (2023.3.29)	
		・5/6号排気筒ドレンサンプピット	5/6号機周辺	約7.6 (2020.3.12)	Cs-134: ND Cs-137: 1.2E1 全β: 2.2E1 (2023.3.28)	
		・集中RW排気筒ドレンサンプピット	1～4号機周辺	約10	Cs-134: ND Cs-137: 2.9E2 全β: 3.5E2 (2023.2.2)	
47	固体廃棄物貯蔵庫(6～8号棟)	固体廃棄物貯蔵庫(6～8号棟)	固体廃棄物貯蔵庫 (6～8号棟)	約200	Cs-134: ND Cs-137: 5.3E+1 全β: 4.8E+1 (2017.11.10)	

建屋内における残水等の状況について

東京電力ホールディングス株式会社
2023/10/6

No.	号機	建屋	対象エリア	区分	区分の判断日※1	運用目標値／基準値(mm)	測定頻度	今回			1回前			2回前			最終排水実績	排水計画	床面(mm)	水位計の有無	水位調整不可能予定時期	備考
								確認日	水位	1回前との水位差(mm)	確認日	水位	2回前との水位差(mm)	確認日	水位	3回前との水位差(mm)						
1	1号機	T/B	電気マンホールNo.1	排水完了エリア	2017/7/5	T.P. 3,023	1回/月	2023/9/12	測定下限値以下	–	2023/9/4	測定下限値以下	–	2023/8/7	測定下限値以下	–	2019/10/28	–	T.P. 1,743	無	完了済	
			電気マンホールNo.2	排水完了エリア	2017/7/5	T.P. 2,293	1回/週	2023/9/12	T.P. 1,863	30	2023/9/4	T.P. 1,833	10	2023/8/30	T.P. 1,823	10	2021/10/26	–	T.P. 1,743	無	完了済	
2			主油タンク室	排水完了エリア	2017/7/5	T.P. 3,463	1回/月	2023/9/12	測定下限値以下	–	2023/9/4	測定下限値以下	–	2023/8/7	測定下限値以下	–	–	–	T.P. 3,443	無	完了済	
3			復水脱塩装置樹脂貯蔵タンク室	排水完了エリア	2017/7/27	T.P. 2,063	1回/3ヶ月	2023/9/12	測定下限値以下	–	2023/9/4	測定下限値以下	–	2023/6/6	測定下限値以下	–	–	–	T.P. 2,043	無	完了済	
4			ハウスボイラ室	排水完了エリア	2017/7/11	T.P. 2,250	1回/週	2023/9/12	T.P. 1,113	60	2023/9/4	T.P. 1,053	10	2023/8/30	T.P. 1,043	20	2022/9/21	–	T.P. 943	有(露出)	完了済	
5			ディーゼル発電機(B)室	排水完了エリア	2017/7/19	T.P. 1,926	1回/月	2023/9/12	測定下限値以下	–	2023/9/4	測定下限値以下	–	2023/8/7	測定下限値以下	–	2021/9/15	–	T.P. 543	有(露出)	完了済	
6			床ドレンサンプ	床面以下に貯留する残水	2018/7/24	–	1回/日	2023/9/7	T.P. -553	–	2023/7/6	T.P. -646	–	2023/6/6	T.P. -185	–	–	–	–	有	完了済	
7			機器ドレンサンプ	床面以下に貯留する残水	2018/7/24	–	1回/日	—	測定困難※3	–	—	測定困難※3	–	—	測定困難※3	–	–	–	–	無	完了済	
8			復水ポンプ配管トレンチ	床面以下に貯留する残水	2018/7/24	–	1回/日	2023/9/7	T.P. -17	–	2023/7/6	T.P. 30	–	2023/6/6	T.P. -68	–	–	–	T.P. -857	有	完了済	水位は仮設水位計にて計測
9			復水ポンプピット(A)	床面以下に貯留する残水	2018/7/24	–	1回/日	—	測定困難※3	–	—	測定困難※3	–	—	測定困難※3	–	–	–	–	無	完了済	
			復水ポンプピット(B)	床面以下に貯留する残水	2018/7/24	–	1回/日	—	測定困難※3	–	—	測定困難※3	–	—	測定困難※3	–	–	–	–	無	完了済	
			復水ポンプピット(C)	床面以下に貯留する残水	2018/7/24	–	1回/日	—	測定困難※3	–	—	測定困難※3	–	—	測定困難※3	–	–	–	–	無	完了済	
10			給水加熱器ドレンポンプピット(A)	床面以下に貯留する残水	2018/7/24	–	1回/日	—	測定困難※3	–	—	測定困難※3	–	—	測定困難※3	–	–	–	–	無	完了済	
			給水加熱器ドレンポンプピット(B)	床面以下に貯留する残水	2018/7/24	–	1回/日	—	測定困難※3	–	—	測定困難※3	–	—	測定困難※3	–	–	–	–	無	完了済	
11		Rw/B	LDT室	排水完了エリア	2020/2/7	T.P. 1,400	1回/月	2023/9/12	測定下限値以下	–	2023/9/4	測定下限値以下	–	2023/8/7	測定下限値以下	–	–	–	T.P. -36	有(露出)	完了済	
12			FSST室	排水完了エリア	2020/2/7	T.P. 1,400	1回/月	2023/9/12	T.P. 14	0	2023/9/4	T.P. 14	10	2023/8/7	T.P. 4	0	2023/1/17	–	T.P. -36	有(露出)	完了済	
13			OGST室	排水完了エリア	2020/2/7	T.P. 1,400	1回/月	2023/9/12	測定下限値以下	–	2023/9/4	測定下限値以下	–	2023/8/7	測定下限値以下	–	–	–	T.P. -36	有(露出)	完了済	
14			床ドレンサンプ(A)	床面以下に貯留する残水	2019/4/22	–	1回/日	—	測定困難※3	–	—	測定困難※3	–	—	測定困難※3	–	–	–	–	無	完了済	
15			床ドレンサンプ(B)	床面以下に貯留する残水	2019/4/22	–	1回/日	—	測定困難※3	–	—	測定困難※3	–	—	測定困難※3	–	–	–	–	無	完了済	
16			高電導度廃液サンプ	床面以下に貯留する残水	2019/4/22	–	1回/日	—	測定困難※3	–	—	測定困難※3	–	—	測定困難※3	–	–	–	–	無	完了済	
17	2号機	T/B	低圧復水ポンプエリア	建屋貯留水	–	–	–	—	測定困難※4	–	—	測定困難※4	–	—	測定困難※4	–	–	–	T.P. -1,752	無	—	復水器エリアと連通性有※2 (連通高さ:T.P.-1527mm)
18			C/B(バッテリー室)	排水完了エリア	2018/1/31	T.P. 1,599	1回/月	2023/9/12	測定下限値以下	–	2023/9/5	測定下限値以下	–	2023/8/8	測定下限値以下	–	2018/1/26	–	T.P. 448	無	完了済	
19			C/B(電気品室)	排水完了エリア	2018/1/18	T.P. 1,644	1回/月	2023/9/12	測定下限値以下	–	2023/9/5	測定下限値以下	–	2023/8/8	測定下限値以下	–	2018/1/15	–	T.P. 448	有(露出)	完了済	
20			バッチ油タンク室	排水完了エリア	2018/3/26	T.P. 1,668	1回/週	2023/9/12	T.P. 508	10	2023/9/5	T.P. 498	30	2023/8/8	測定下限値以下	–	2022/10/12	–	T.P. 448	有(露出)	完了済	降雨の影響と推定される水位上昇。傾向を監視するため、測定頻度を1回/週に変更する。
21			スイッチギア室	排水完了エリア	2020/2/7	T.P. 1,400	1回/月	2023/9/12	測定下限値以下	–	2023/9/5	測定下限値以下	–	2023/8/8	測定下限値以下	–	–	–	T.P. 448	有(露出)	完了済	
22			南西エリア	排水完了エリア	2020/2/7	T.P. 1,400	1回/月	2023/9/12	測定下限値以下	–	2023/9/5	測定下限値以下	–	2023/8/8	測定下限値以下	–	–	–	T.P. 448	有(露出)	完了済	
23			CD室	排水完了エリア	2020/2/7	T.P. 1,400	1回/月	2023/9/12	測定下限値以下	–	2023/9/5	測定下限値以下	–	2023/8/8	測定下限値以下	–	–	–	T.P. 448	有(露出)	完了済	
24			消火ポンプ室(水位計設置個所)	排水完了エリア	2020/2/7	T.P. 1,400	1回/月	2023/9/12	測定下限値以下	–	2023/9/5	測定下限値以下	–	2023/8/8	測定下限値以下	–	2023/7/25	–	T.P. 448	有(露出)	完了済	
			消火ポンプ室(ポンプ設置個所)	排水完了エリア	2020/2/7	T.P. 1,400	1回/月	2023/9/12	T.P. 478	0	2023/9/5	T.P. 478	0	2023/8/23	T.P. 478	0	2020/6/29	–	T.P. 448	無	完了済	水位が安定しているため、測定周期を1回/週→1回/月に戻す。
25			ディーゼル発電機(A)室	排水完了エリア	2020/2/7	T.P. 1,400	1回/月	2023/9/12	測定下限値以下	–	2023/9/5	測定下限値以下	–	2023/8/8	測定下限値以下	–	–	–	T.P. 448	有(露出)	完了済	
26			電気油圧式制御装置室 ※5	建屋貯留水	–	–	–	2018/1/31	測定下限値以下	–	2018/1/31	測定下限値以下	–	43131	測定下限値以下	–	–	–	T.P. 448	無	—	復水器エリアと連通性有※2
27	3号機	T/B	T/B地下階北東廊下 ※5	建屋貯留水	–	–	–	2017/12/25	測定下限値以下	–	2017/12/25	測定下限値以下	–	43094	測定下限値以下	–	–	–	T.P. 463	無	—	復水器エリアと連通性有※2
28			南西エリア	排水完了エリア	2020/2/7	T.P. 1,400	1回/月	2023/9/12	測定下限値以下	–	2023/9/6	測定下限値以下	–	2023/8/9	測定下限値以下	–	–	–	T.P. 463	有(露出)	完了済	
29			CD室	排水完了エリア	2020/2/7	T.P. 1,400	1回/月	2023/9/12	測定下限値以下	–	2023/9/6	測定下限値以下	–	2023/8/9	測定下限値以下	–	–	–	T.P. 463	有(露出)	完了済	
30			ディーゼル発電機(A)室	排水完了エリア	2020/2/7	T.P. 1,400	1回/月	2023/9/12	測定下限値以下	–	2023/9/6	測定下限値以下	–	2023/8/9	測定下限値以下	–	–	–	T.P. 463	有(露出)	完了済	
31			ディーゼル発電機(B)室	排水完了エリア	2020/2/7	T.P. 1,400	1回/月	2023/9/12	測定下限値以下	–	2023/9/6	測定下限値以下	–	2023/8/9	測定下限値以下	–	–	–	T.P. 463	有(露出)	完了済	
32			電気油圧式制御装置室	排水完了エリア	2018/2/2	T.P. 1,725	1回/月	2023/9/12	測定下限値以下	–	2023/9/6	測定下限値以下	–	2023/8/9	測定下限値以下	–	2019/6/14	–	T.P. 463	無	完了済	
33			消火ポンプ室	排水完了エリア	2018/3/20	T.P. 1,644	1回/月	2023/9/12	T.P. 514	10	2023/9/6	T.P. 504	0	2023/8/23	T.P. 504	0	2023/1/18	–	T.P. 463	有(露出)	完了済	水位が安定しているため、測定周期を1回/週→1回/月に戻す。
34			バッチ油タンク室	排水完了エリア	2018/3/20	T.P. 1,665	1回/月	2023/9/12	測定下限値以下	–	2023/9/6	測定下限値以下	–	2023/8/9	測定下限値以下	–	2020/10/6	–	T.P. 463	有(露出)	完了済	
35			C/Bエリア	建屋貯留水	–	–	1回/日	2023/9/12	測定下限値以下※6	–	2023/8/9	測定下限値以下※6	–	2023/7/10	測定下限値以下※6	–	2020/10/2	–	T.P. -1,737	有	完了済	継続した水位上昇を確認。 継続して排水する措置を実施済み。
36	4号機	T/B	C/B(バッテリー室)	排水完了エリア	2018/2/15	T.P. 1,683	1回/月	2023/9/12	測定下限値以下	–	2023/9/7	測定下限値以下	–	2023/8/10	測定下限値以下	–	2018/1/24	–	T.P. 461	有(露出)	完了済	
37			C/B(電気品室)	排水完了エリア	2018/2/15	T.P. 1,636	1回/月	2023/9/12	測定下限値以下	–	2023/9/7	測定下限値以下	–	2023/8/10	測定下限値以下	–	2018/10/23	–	T.P. 461	有(露出)	完了済	
38			バッチ油タンク室	排水完了エリア	2018/3/23	T.P. 1,622	1回/月	2023/9/12	測定下限値以下	–	2023/9/7	測定下限値以下	–	2023/8/10	測定下限値以下	–	2020/10/14	–	T.P. 461	有(露出)	完了済	
39			M/Cエリア	排水完了エリア	2020/2/7	T.P. 1,400	1回/月	2023/9/12	測定下限値以下	–	2023/9/7	測定下限値以下	–	2023/8/10	測定下限値以下	–	–	–	T.P. 461	有(露出)	完了済	
40			南西エリア	排水完了エリア	2020/2/7	T.P. 1,400	1回/月	2023/9/12	測定下限値以下	–	2023/9/7	測定下限値以下	–	2023/8/10	測定下限値以下	–	–	–	T.P. 461	有(露出)	完了済	
41			ディーゼル発電機(A)室	排水完了エリア	2020/2/7	T.P. 1,400	1回/月	2023/9/12	測定下限値以下	–	2023/9/7	測定下限値以下	–	2023/8/10	測定下限値以下	–	–	–	T.P. 461	有(露出)	完了済	
42			電気油圧式制御装置室 ※5	建屋貯留水	–	–	–	2018/1/12	測定下限値以下	–	2018/1/12	測定下限値以下	–	2018/1/12	測定下限値以下	–	–	–	T.P. 461	無	–	復水器エリアと連通性有※2

※1:現状の滞留水水位より床面が低く、将来的な水位低下によって孤立すると想定されるエリアについては、運転上の制限(建屋滞留水＜サブドレン水位)を満足する時期で調査を行い、区分分けするように計画する。
※2:2018/3/8,2018/4/24 面談資料参照。
※3:1号機タービン建屋は、現在、床ドレンサンプ内で水位管理を行っているため、T.P.443として管理(2018/4/6面談資料参照)
※4:連通のある復水器エリアは、連通高さ(T.P.-1527mm)以下にある床ドレンサンプで水位を制御しているため、連通高さを超えてから水位を記載する。
※5:床面露出。中間地下階のため、再冠水の可能性は低い。
※6:床面露出。床面(T.P.-1737mm)以下にあるストームドレンサンプで水位を制御しているため、床面高さを超えてから水位を記載する。

2023/9/7 5:00 時点の各建屋水位

建屋	1号機 R/B	1号機 Rw/B	1号機 T/B※6	2号機 R/B	2号機 Rw/B	2号機 T/B	3号機 R/B	3号機 Rw/B	3号機 T/B	4号機 R/B	4号機 Rw/B	4号機 T/B
滞留水の水位	T.P. -2,221	除去完了	除去完了	T.P. -2,829	除去完了	除去完了	T.P. -2,848	除去完了	除去完了	除去完了	除去完了	除去完了
周辺サブドレン設定値	T.P. -650	T.P. -650	T.P. -650	T.P. -650	T.P. -650	T.P. -650	T.P. -650	T.P. -650	T.P. -650	T.P. -650	T.P. -650	T.P. -650

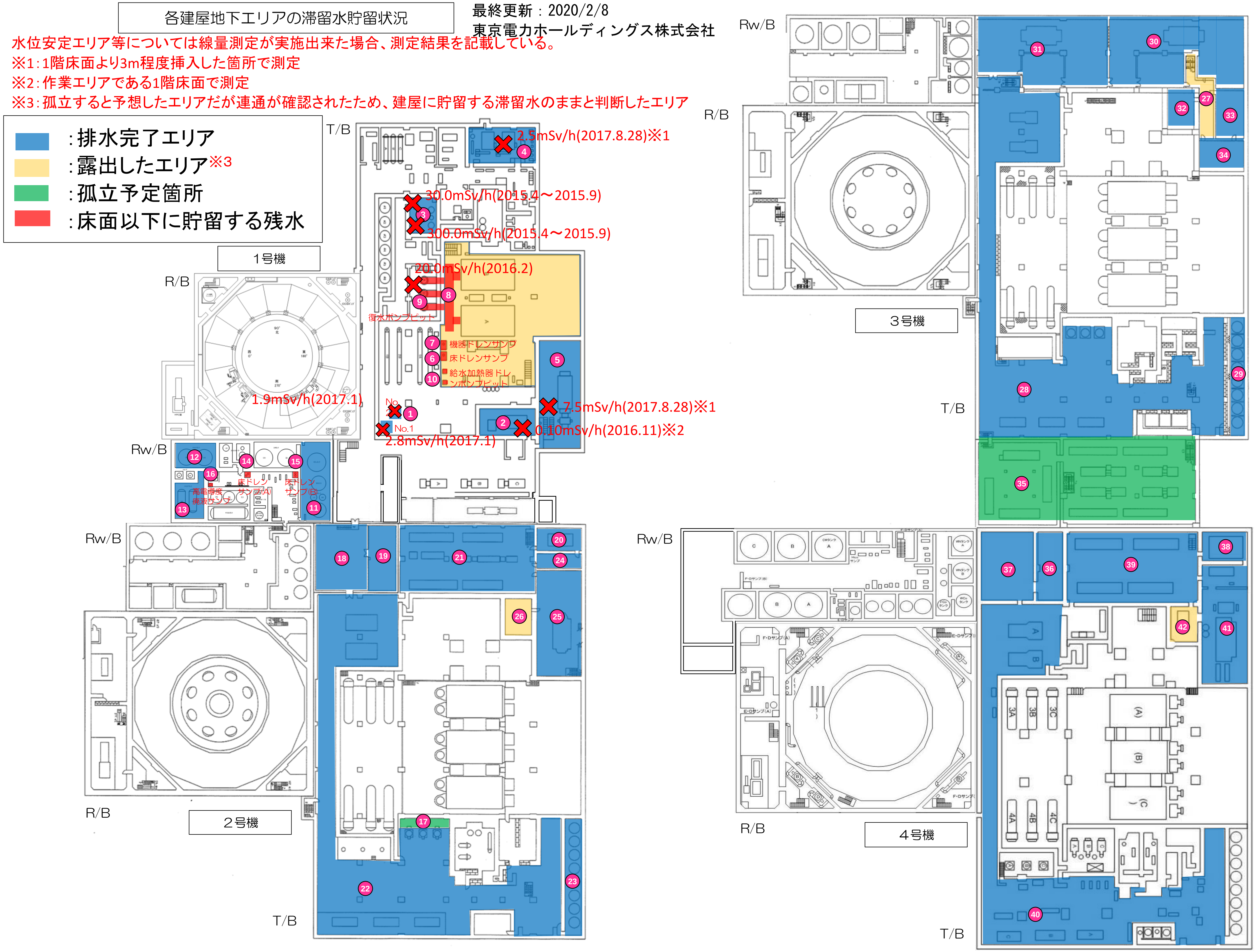
※6:1号機T/Bの最下階の床レベルはT.P.443mm

©Tokyo Electric Power Company Holdings, Inc. All Rights Reserved.
無断複製・転載禁止　東京電力ホールディングス株式会社

各建屋地下エリアの滞留水貯留状況

最終更新：2020/2/8
東京電力ホールディングス株式会社

水位安定エリア等については線量測定が実施出来た場合、測定結果を記載している。
※1：1階床面より3m程度挿入した箇所で測定
※2：作業エリアである1階床面で測定
※3：孤立すると予想したエリアだが連通が確認されたため、建屋に貯留する滞留水のままと判断したエリア



©Tokyo Electric Power Company Holdings, Inc. All Rights Reserved.
無断複製・転載禁止　東京電力ホールディングス株式会社

福島第一原子力発電所における固体廃棄物について

東京電力ホールディングス株式会社
2023年10月6日

実施計画記載箇所	大分類	小分類	保管場所	保管形態	保管量※1,2,3	保管容量※1,2,3	管理方法		主要核種
							実施内容	頻度	
Ⅲ 第1編 39条 第2編 87条の2	瓦礫類	・地震、津波、水素爆発により飛散した瓦礫 ・フォールアウトにより汚染した設備・資機材で廃棄する物（建屋、制御盤、廃車両等） ・設備の点検・工事により発生する交換品等（ポンプ、バルブ、配管、フランジタンク等） ・設備運転に伴い発生する消耗品等（空調フィルタ等） ・工事等のため構内に持ち込んだ消耗品（梱包材、型枠、セメント用空袋等） ・回収した土壌	屋外	・屋外集積（～0.1mSv/h）	302,900 m^3 [+700 m^3]	397,900 m^3	・人が容易に立ち入れないよう区画	－	Cs-137 Cs-134 等※6
				・シート養生（0.1～1mSv/h）	43,100 m^3 [-600 m^3]	55,300 m^3	・巡視にて以下を確認 ①容器の点等、落下が無いこと ②養生シートに破れが無いこと ③その他異常が無いこと ・空間線量率を測定し表示 ・覆土式一時保管施設について、槽内の溜まり水の有無を確認	週1回	
				・覆土式一時保管施設、容器収納（1mSv/h～30mSv/h）	16,400 m^3 [0 m^3]	17,200 m^3			
			固体廃棄物貯蔵庫	・容器収納	29,700 m^3 [+100 m^3]	39,600 m^3 (64,700 m^3)			
			瓦礫類の合計		392,100 m^3 [+100 m^3]	509,900 m^3 (535,100 m^3)			
	使用済保護衣等	・タイベック、下着類、ゴム手袋 ・その他保護衣、保護具	屋外	・容器収納	20,800 m^3 [+800 m^3]	25,300 m^3 ※4			
	伐採木	・枝葉根	屋外	・伐採木一時保管槽	37,300 m^3 [0 m^3]	41,600 m^3	・伐採木一時保管槽における温度監視 ・伐採木の屋外集積にて以下を確認 ①煙、水蒸気、空気の揺らぎが無いこと ②濁り水（黒・茶色）が無いこと	週1回 (6～9月週3回)	
				・屋外集積	2,400 m^3 [微増 m^3]	6,000 m^3			
		・幹根			56,300 m^3 [-11,200 m^3]	128,000 m^3	・保管量の確認 ・保管容量が確保されていることを確認	月1回	
		－	伐採木の合計		96,000 m^3 [-11,200 m^3]	175,600 m^3	・空気中の放射性物質濃度を測定	6ヶ月に1回※5	
Ⅲ 第1編 40条 第2編 87条の3	水処理二次廃棄物	・凝集沈殿物	廃ｽﾗｯｼﾞ貯蔵施設	・造粒固化体貯槽【除染装置】	469 m^3 [+35 m^3]	700 m^3	・免震重要棟にて液位を監視し、漏えいの有無を監視	常時	Cs-137 Cs-134 Sr-90 等
			使用済ｾｼｳﾑ吸着塔一時保管施設	・HIC【多核種除去設備、増設多核種除去設備】（最大約13mSv/h）	4,226 本 [+14 本]	4,384 本	・人が容易に立ち入れないよう区画 ・空間線量率を測定し表示 ・巡視を行い、コンクリート製ボックスカルバート等に異常が無いことを確認	－	
		・吸着材（前置フィルタ含む）		・HIC【多核種除去設備、増設多核種除去設備】（最大約23mSv/h）					
				・吸着塔【第二セシウム吸着装置、第三セシウム吸着装置、高性能多核種除去設備、RO濃縮水処理設備、サブドレン他浄化装置】（最大約1.2mSv/h）	410 本 [+1 本]	584 本			
				・処理カラム【多核種除去設備】（最大約0.2mSv/h）					
				・吸着塔【セシウム吸着装置、モバイル式処理装置、モバイル型Sr除去装置、第二モバイル型Sr除去装置、サブドレン他浄化装置、放水路浄化装置、浄化ユニット、高性能多核種除去設備検証試験装置】（最大約250mSv/h）	987 本 [0 本]	1,532 本	・貯蔵量の確認 ・貯蔵容量が確保されていることを確認	週1回	
				・容器収納【モバイル型Ｓｒ除去装置】（最大約0.5mSv/h）					
		・フィルタ	屋外	・容器収納【高性能多核種除去設備、RO濃縮水処理設備】（最大約0.5mSv/h）	瓦礫類に含む		瓦礫類と同様		
			固体廃棄物貯蔵庫	・容器収納【サブドレン他浄化装置】					
				・容器収納【雨水処理設備等】（1mSv/h未満）					
		・RO装置のフィルタ類	屋外	・容器収納【SFP塩分除去装置】（最大十数mSv/h）					
		・樹脂	固体廃棄物貯蔵庫	・容器収納【雨水処理設備等】（最大2mSv/h）					

東京電力ホールディングス株式会社
2023年10月6日

福島第一原子力発電所における固体廃棄物について

実施計画記載箇所	大分類	小分類	保管場所	保管形態	保管量※1,2,3	保管容量※1,2,3	管理方法 実施内容	管理方法 頻度	主要核種
Ⅲ 第1編 38条 第2編 87条	放射性固体廃棄物等	・震災前に発生した放射性固体廃棄物	固体廃棄物貯蔵庫	・ドラム缶収納	ドラム缶 175,661 本	ドラム缶 約 318,500 本 相当	・巡視による保管状況の確認 ・保管量の確認	月1回	Co-60 等
				・その他	ドラム缶 10,155 本 相当				
		・震災後に発生した放射性固体廃棄物 （焼却灰等）		・ドラム缶収納、ボックスコンテナ収納	ドラム缶 4,788 本 [+88 本] 相当				
		・制御棒	サイトバンカ	・水中保管	1,177 本 [+8 本]	―	・巡視による保管状況の確認	月1回	
		・チャンネルボックス			9,818 本 [0 本]				
		・ヒューエルサポート			3 本 [0 本]				
		・中性子検出器			1,137 本 [0 本]				
		・その他（シュラウド切断片等）			193 m^3 [0 m^3]		・保管量の確認	3ヶ月に1回	
		―	サイトバンカの合計		12,135 本 [+8 本] 193 m^3 [0 m^3]				
		・イオン交換樹脂	タンク等	・タンク等に貯蔵	2,400 m^3 [0 m^3]		・貯蔵量の確認	3ヶ月に1回	
		・造粒固化体			1,148 m^3 [0 m^3]		・貯蔵状況の確認	タンクにより異なる	
		―	タンク等の合計		3,548 m^3 [0 m^3]		・1～4号機廃棄物処理建屋等の水没や高線量の理由によりアクセスできないタンクについては上記の限りではない		
		・制御棒	使用済燃料プール	・水中保管	271 本 [-8 本]		・使用済燃料共用プールの巡視	月1回	
		・チャンネルボックス			10,056 本 [-276 本]				
		・ポイズンカーテン			173 本 [0 本]				
		・ヒューエルサポート			54 本 [0 本]		・使用済燃料共用プールの貯蔵量の確認	3ヶ月に1回	
		・中性子検出器			375 本 [0 本]				
		―	使用済燃料プールの合計		10,929 本 [-284 本]				
―	瓦礫等	・回収した瓦礫等	屋外	・屋外集積、シート養生、容器収納、雨水等侵入防止養生	―	5,900 m^3 [0 m^3]	・一時保管エリアで保管するための準備として、分別作業やコンテナへの収納作業を実施する場合に限り、仮設集積を設定 ・人が容易に立ち入れないよう区画 ・立ち入りを制限する標識を掲示 ・空間線量率を測定し表示	―	Cs-134 Cs-137 等
			建屋	・屋内集積、シート養生、容器収納、雨水等侵入防止養生		100 m^3 [0 m^3]			
	水処理二次廃棄物	・樹脂、ゼオライト、RO膜等	―	・容器収納、容器収納の上 シート養生		微量 m^3 [0 m^3]			Cs-137 Cs-134 Sr-90 等
	―		仮設集積の合計			6,000 m^3 [0 m^3]			

東京電力ホールディングス株式会社
2023年10月6日

福島第一原子力発電所における固体廃棄物について

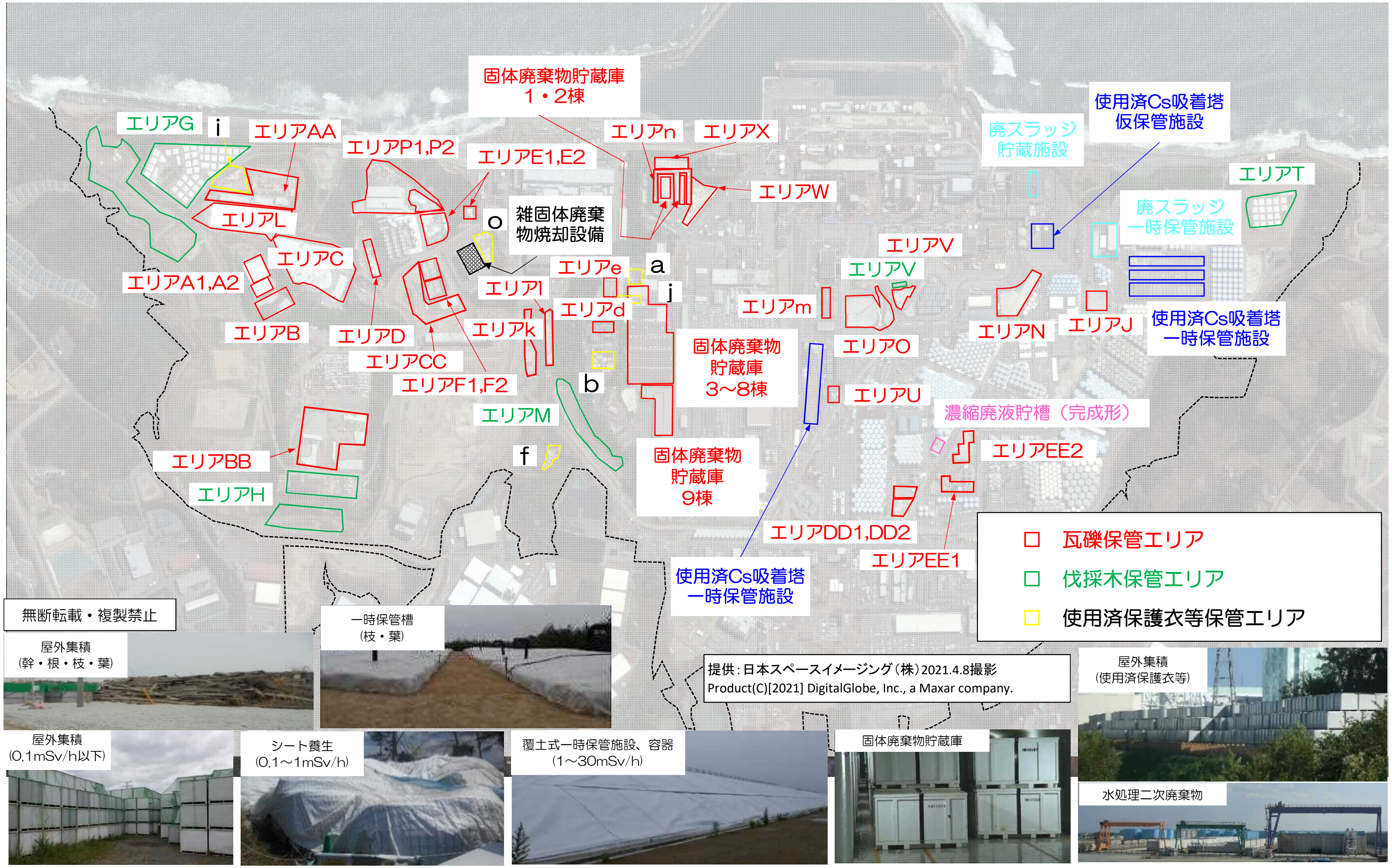
ガレキの保管量の現状※1,2,7

保管形態	受入目安表面線量率(mSv/h)	エリア名称	保管容量	保管量	前回比	保管容量合計	保管量合計	2023年度末想定保管量
屋外集積（～0.1mSv/h）	≦バックグラウンド線量率	EE1	8,600 m^3	500 m^3	+100 m^3	397,900 m^3	302,900 m^3	355,600 m^3
	≦0.001	AA	58,000 m^3	27,200 m^3	+200 m^3			
	≦0.005	A2	9,500 m^3	－ m^3 ※8	－ m^3 ※8			
		J	6,300 m^3	6,100 m^3	0 m^3			
		DD1	4,100 m^3	1,300 m^3	+100 m^3			
		DD2	6,800 m^3	1,900 m^3	+300 m^3			
		EE2	6,300 m^3	1,200 m^3	+200 m^3			
		l	7,200 m^3	0 m^3	0 m^3			
	≦0.01	A1	4,300 m^3	2,200 m^3	0 m^3			
		B	5,300 m^3	5,300 m^3	0 m^3			
		BB	44,800 m^3	44,700 m^3	微増 m^3			
		k	9,500 m^3	1,100 m^3	+600 m^3			
	≦0.02	D	2,700 m^3	2,600 m^3	0 m^3			
	≦0.028	U	800 m^3	700 m^3	0 m^3			
	≦0.1	C	67,000 m^3	66,600 m^3	0 m^3			
		F1	700 m^3	600 m^3	0 m^3			
		F2	6,400 m^3	5,200 m^3	-400 m^3			
		N	9,700 m^3	9,600 m^3	0 m^3			
		O	44,100 m^3	44,000 m^3	0 m^3			
		P1	62,700 m^3	56,500 m^3	-300 m^3			
		V	6,000 m^3	6,000 m^3	0 m^3			
		CC	18,800 m^3	12,100 m^3	-200 m^3			
		d	1,900 m^3	1,200 m^3	+300 m^3			
		e	6,700 m^3	6,200 m^3	0 m^3			
シート養生（0.1～1mSv/h）	≦1	E1	16,000 m^3	13,400 m^3	-500 m^3	55,300 m^3	43,100 m^3	62,300 m^3
		P2	6,700 m^3	6,000 m^3	微減 m^3			
		W	11,600 m^3	9,100 m^3	微増 m^3			
		X	7,900 m^3	7,100 m^3	微減 m^3			
		m	4,400 m^3	1,400 m^3	+100 m^3			
		n	8,700 m^3	6,000 m^3	-100 m^3			
覆土式一時保管施設、容器収納（1mSv/h～30mSv/h）	≦2	E2	1,200 m^3	400 m^3	0 m^3	17,200 m^3	16,400 m^3	28,000 m^3
	≦30	L	16,000 m^3	16,000 m^3	0 m^3			

※1　各数値は以下の時点のデータを示している。
瓦礫類、使用済保護衣等、伐採木の保管量及び保管容量　：　2023年8月31日 現在
水処理二次廃棄物の保管量及び保管容量　：　2023年8月31日 現在
固体廃棄物貯蔵庫保管の放射性固体廃棄物の保管量及び保管容量　：　2023年8月31日 現在
固体廃棄物貯蔵庫保管以外の放射性固体廃棄物の保管量及び保管容量　：　2023年6月末 現在
仮設集積の保管容量　：　2023年8月31日 現在
瓦礫類の（　　）で記載している保管容量及び瓦礫類の想定保管量の予測値　：　2023年7月26日 認可の実施計画
※2　一部の値について端数処理で100m^3未満を四捨五入しているため、合計値が合わないことがある。また、50m^3未満の保管量を微量、50m^3未満の増減を微増・微減と示している。
※3　[　　]は、当該の報告と前回の報告との差を示している。
※4　エリアAA、エリアk、エリア1は、使用済保護衣等の保管も行うが、主に瓦礫類を保管するため、使用済保護衣等の保管容量からは除いている。
※5　屋外集積及びシート養生の瓦礫類、使用済保護衣等、並びに屋外集積の伐採木は、3ヶ月に1回。
※6　廃棄物の処理・処分に必要となる、廃棄物の性状把握のため、汚染水、瓦礫類、伐採木及び立木について、放射能濃度分析を実施しており、今後も継続する。
分析した試料の中には、C-14（半減期：約5.7×10^3年）、Ni-63（半減期：約1.0×10^2年）、Se-79（半減期：約1.1×10^6年）、Tc-99（半減期：約2.1×10^5年）、I-129（半減期：約1.6×10^7年）等が検出されているものがある。
※7　各受入目安表面線量率において、固体廃棄物貯蔵庫の保管量は除いて記載。
※8　エリアA2は低線量エリアとした(2020年1月6日認可）が、移行期間のため「－」と記載。

東京電力ホールディングス株式会社
2023年10月6日

福島第一原子力発電所　固体廃棄物等保管エリアの構内配置図

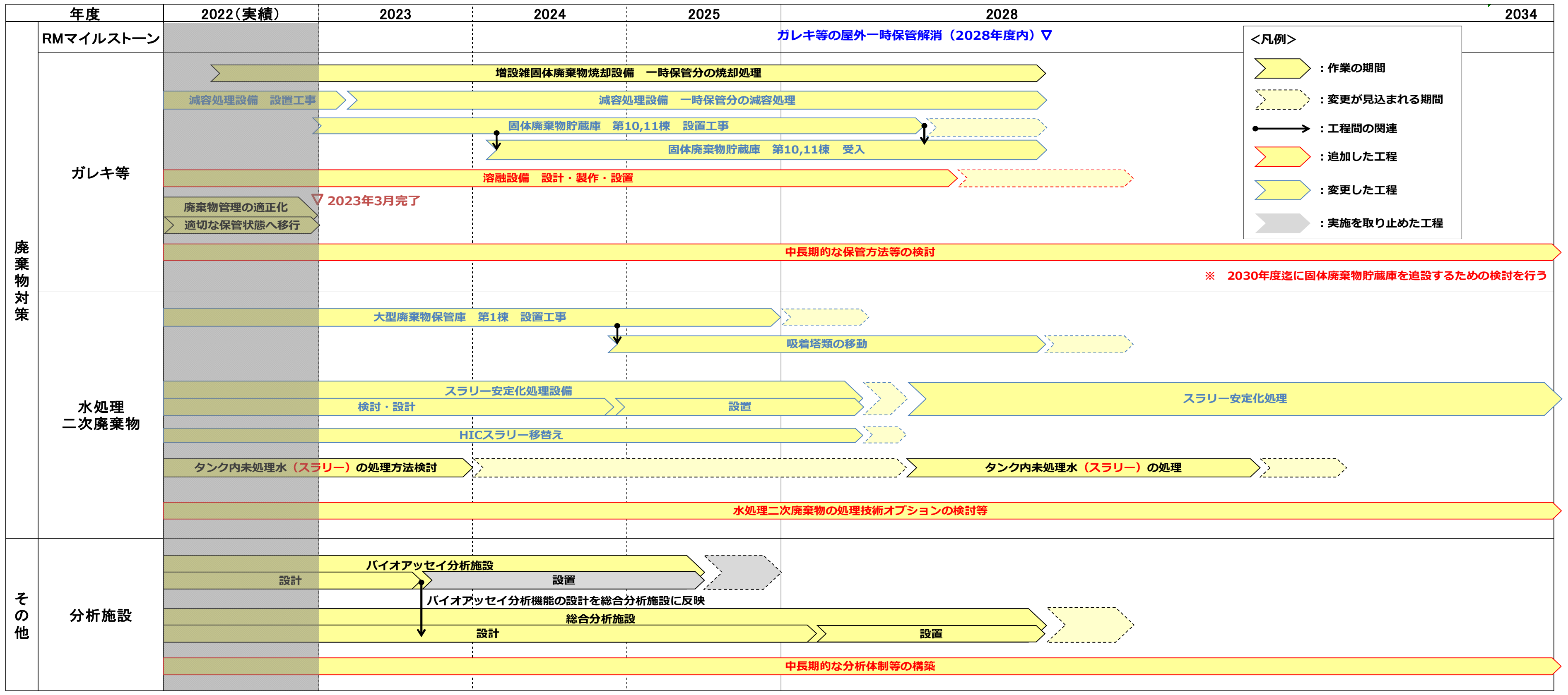


放射性廃棄物処理・処分　スケジュール

分野名	廃炉中長期実行プラン２０２３目標工程	括り	作業内容		これまで1ヶ月の動きと今後6ヶ月の予定	区分	工程（8月／9月／10月／11月／12月／1月／2月／3月以降）	備考
固体廃棄物の保管管理、処理・処分計画	●ガレキ等の屋外一時保管解消（2028年度内）	保管管理計画	1．保管適正化の推進	一時保管エリアの変更	（実　績／予　定）	検討・設計		
				雑固体廃棄物焼却設備	（実　績） ・年次点検　（A系） ・電気設備点検（A系） ・冷却水循環ポンプ交換（共通） （予　定） ・処理運転　（A・B系） ・電気設備点検（A・B系） ・冷却水循環ポンプ交換（共通）	現場作業	詳細工程調整中 【A系】年次点検／電気設備点検／処理運転／電気設備点検(A系電源停止) 【B系】電気設備点検／電気設備点検(B系電源停止)／処理運転 【共通】冷却水循環ポンプ交換	・2023年1月21日からB系、2月4日からA系について年次点検を実施し完了 ・2月10日排ガスフィルタB系の点検において腐食による損傷を確認、2月１１日にA系についても同様の損傷を確認 ・排ガス系統各部の調査を行い、損傷部の修理は完了。A系は残りの年次点検を実施し完了 ・7月13日に冷却水循環ポンプAの地絡が発生、当該ポンプの交換後に運転再開予定 ・冷却水循環ポンプの手配を進めており，復旧は11月頃になる見通し。今後詳細工程を反映する ・上位電源取替工事の工程変更に伴い、A系電源停止時期を変更 ・冷却水循環ポンプA不具合に伴い、B系電源停止時期を変更（空調全停防止のため）
				増設雑固体廃棄物焼却設備	（実　績） ・処理運転 ・廃油ノズル清掃他 ・灰詰まり除去 （予　定） ・炉内清掃他 ・処理運転 ・電源停止	現場作業	詳細工程調整中 処理運転／廃油ノズル清掃他／処理運転／灰詰まり除去／処理運転／炉内清掃他／処理運転／電源設備点検による停止／処理運転	・2023年8月末から9月頭にかけて廃油ノズルの清掃他を実施 ・2023年10月に炉内清掃他を実施予定 ・電源設備点検による停止時期を9月末～10月末から、11月末～12月下旬に変更
				除染装置（AREVA）スラッジ	（実　績） ・スラッジ対処方法検討 ・建屋内線量低減 （予　定） ・スラッジ対処方法検討 ・建屋内線量低減	検討・設計	スラッジ対処方法検討 詳細工程調整中	・ダスト閉じ込め機能の追加に伴い、、筐体強度/耐震評価の見直しが必要になったため、詳細工程について調整中
						現場作業	建屋内線量低減（2025年5月完了予定）	・干渉物撤去等の線量低減対策を実施中
			2．保管適正化の推進のための設備設置	減容処理設備	（実　績） ・実施計画変更 ・製作 （予　定） ・製作 ・実施計画変更 ・現地工事、風量調整 ・使用前検査 ・サーベイ、管理区域設定 ・運用	検討・設計	実施計画変更	・空調バランス不具合により、原因調査および対策を検討 ・2024年1月竣工見込み
						現場作業	製作／現地工事、風量調整／使用前検査／サーベイ、管理区域設定／運用	
				固体廃棄物貯蔵庫第10棟	（実　績） ・地盤改良工事（10-C棟） ・建築工事（10-A棟） ・建築工事（10-B棟） （予　定） ・地盤改良工事（10-C棟） ・建築工事（10-A棟） ・建築工事（10-B棟） ・建築工事（10-C棟）	検討・設計		・2024年4月：10-A棟竣工 ・2024年7月：10-B棟竣工 ・2025年3月：10-C棟竣工 ・2023年2月10日に実施計画申請の一部補正を実施 ・2023年2月21日に実施計画変更認可 ・2023年3月29日に建屋工事着工
						現場作業	地盤改良工事（10-C棟） 建屋工事（10-A棟）（2024年4月完了予定） 建屋工事（10-B棟）（2024年7月完了予定） 最新工程反映 建屋工事（10-C棟）（2025年3月完了予定）	
				固体廃棄物貯蔵庫第11棟	（実　績／予　定） ・設計検討	検討・設計	設計検討（2024年12月完了予定）	・2021年2月13日の地震に関する影響評価を踏まえ、追加の耐震評価を実施予定（耐震クラスの考え方について検討中）
	●水処理二次廃棄物			大型廃棄物保管庫	（実　績） ・設計検討 （予　定） ・設計検討 ・建屋補強工事 ・クレーン設置工事	検討・設計	設計検討（建屋補強、吸着塔架台）（2024年12月完了予定） 詳細工程調整中	・2/13の地震に関する影響評価を踏まえ、２０２３年度内部工事開始、２０２４年度吸着塔受入開始、2025年度耐震補強完了を目標とする
						現場作業	建屋補強工事（2026年3月完了予定） 詳細工程調整中 クレーン設置工事（2023年度内設置開始予定）	
				スラリー安定化処理設備	（実　績） ・安定化処理設備の設計方針検討 （予　定） ・適用性、成立性確認 ・安定化処理設備の詳細設計検討 ・建屋現地工事	検討・設計	安定化処理設備の設計検討（2025年3月完了予定）	・2022年9月12日 第102回監視・評価検討会において示された「審査上の論点」を踏まえ、設計見直しを実施中
						現場作業	建屋現地工事（2027年3月完了予定）	

分野名	廃炉中長期実行プラン2023 目標工程	括り	作業内容		これまで1ヶ月の動きと今後6ヶ月の予定		8月～3月以降（8月／9月／10月／11月／12月／1月／2月／3月以降）	備考
固体廃棄物の保管管理、処理・処分計画	●その他廃棄物対策関連作業	処理・処分計画	3．固体廃棄物の性状把握		（実　績） ・計画に基づいたサンプリングの実施 ・計画に基づいた吸着塔サンプリングの実施 ・瓦礫類分析 ・汚染水分析・水処理二次廃棄物分析 （予　定） ・計画に基づいたサンプリングの実施 ・計画に基づいた吸着塔サンプリングの実施 ・瓦礫類分析 ・汚染水分析・水処理二次廃棄物分析	検討・設計 現場作業	計画に基づいたサンプリングの実施（採取継続） 計画に基づいた吸着塔サンプリングの実施 瓦礫類分析 汚染水分析・水処理二次廃棄物分析（分析継続）	・水処理二次廃棄物：ALPS吸着材等を分析中 ・これまでの分析結果は以下のウェブページにまとめられている リスト：https://clads.jaea.go.jp/jp/rd/tech-info.html 検索　：https://frandli-db.jaea.go.jp/FRAnDLi/
	●分析施設		4．分析・研究施設の設置	JAEA分析・研究施設第１棟	（実　績） ・放射性物質を用いた分析作業 （分析法の妥当性確認/研究開発による分析を含む） （予　定） ・放射性物質を用いた分析作業 （分析法の妥当性確認/研究開発による分析を含む）	現場作業	（分析継続） 放射性物質を用いた分析作業(分析法の妥当性確認/研究開発による分析を含む)	・2022年6月竣工
				総合分析施設	（実　績/予　定） ・設計検討（基本設計）	検討・設計	設計検討（基本設計）（2024年8月完了予定）	

廃炉中長期実行プラン2023



注：今後の検討に応じて、記載内容には変更があり得る